



学校だより

8月号 (第193号)
令和5年8月25日発行
横浜市立並木中央小学校



夏休みの1ページ

学校長 齋藤 由美子

猛暑・酷暑の連続の夏休みでしたが、ご家庭や地域では、様々な思い出の1ページが繰り広げられたのではないのでしょうか。

4年ぶりに行われた並木シーサイドタウン連合自治会のサマフェスに、参加させていただきました。4年生以上の希望者が、全教員の指導のもと、7月の初めから熱心に合奏の練習を続けてきました。当日は、舟だまりをバックに2曲を披露することができ、子どもたちにとって、笑顔いっぱいの素敵な思い出となりました。翌日の朝は、3年生以上の希望者22名が、舟だまりから富岡八幡宮に続く道のごみ拾いをしました。双方共に、「地域の中で自分のたちの良さを発揮したい。役立ちたい。」という気持ちが全面に出る活動でした。このような機会をつくってくださった地域の皆様、ありがとうございました。2日目の夜の花火大会も感動的でした。夜空を見上げて喜ぶ子どもたちの顔を見て、地域の熱い思いを感じずにはいられませんでした。こういう活動を通して考えるに、子どもは、地域の子どもののだと改めて思います。故郷である並木のまちを大切にしたい気持ちを持ち、そして大人になっても、さらに並木のまちを盛り立てていく人材になってほしいと願います。

学校では、7月の終わりに教職員が、校内の大掃除をしました。副校長が綿密に計画を立て、皆で大汗をかいて粗大ごみを運びました。物が溢れ、何年も倉庫のようになっていた場所がきちんと整理され、使いやすくなりました。また、用務員は、廊下や階段にワックスをかけピカピカに、そして調理員は、休み明けから始まる給食の準備もしています。暑い夏でしたが、教職員も頑張りました。

また、本校で飼育中のウサギの「ラテ」ですが、例年、学校閉庁期間は、教職員が当番を決めて出勤するところですが、1年生の保護者の方からのお声かけがあり、預かっていただきました。涼しいお宅の中でお泊りでき、「ラテ」は幸せでした。閉庁期間明けにお迎えに行くと、情がうつったのでしょうか「帰らないで…。もっといえ…。」と、小さなご兄弟の泣き声が聞こえました。「ラテ」にとっても、お子さんにとっても幸せな時間だったのだらうと思いました。お世話になりました。

9月からは、運動会の練習も始まります。暑さの中、安全には十分配慮しながら、進めていきます。引き続き、本校教育活動へのご理解・ご協力をよろしく願います。